

科目名	臨床評価学実習（作業療法）	担当教員	佐々木努※ 山田恭平※ 三宅環※ 久保勝幸※ 松田竜幸※ 佐藤拓也※ 榮志津江※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	--

開 講 専 攻	分 野	種 別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	4単位	実習

科 目 概 要	臨床評価学実習では、実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する作業療法評価の一連の過程を実習する。対象者と適切に対応し、リスク管理を的確に行いつつ、対象者の障害を把握する科学的な観察力を実践を通して養う。
学 習 目 標	① 必要な情報収集、面接観察および検査測定を選択して実施する。 ② 評価手段によって得られた結果を個々に分析する。 ③ 分析結果をもとに統合解釈を経験して評価の意義を理解する。 ④ 評価過程を適切に記録し、報告する。

回	項 目	主 な 学 習 内 容	到 達 目 標	実務経験 教員担当 項 目
1	臨床実習 1	実習施設における実習（第 1 週）	上記学習目標①～④	臨床実習 指導者
2	臨床実習 2	実習施設における実習（第 2 週）	〃	臨床実習 指導者
3	臨床実習 3	実習施設における実習（第 3 週）	〃	臨床実習 指導者
4	臨床実習 4	実習施設における実習（第 4 週）	〃	臨床実習 指導者
評価方法		臨床評価学実習評価表（80%）、実習報告会の内容（20%）		
教科図書		なし		
参考図書		なし		
学習の準備		臨床評価学実習に臨むにあたって、これまでの学習内容を理解しておくこと。		
オフィスアワー		随時		
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験		民間病院において、臨床実習担当の指導・監督の下、作業療法の実務を見学・体験させる。		